水を語る会

会 報 第６８号
令和８年７月 22 日
水 を 語 る 会
会長　眞柄　泰基

現在の会員数　一般会員 127 名　団体会員 3 団体　（令和 6 年 3 月現在）

講演会の報告（第 53 回会員集会）

日時：令和８年５月 16 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分
場所：日本水道会館会議室及び WEB（Zoom）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演１：ポリエチレンパイプの過去・変遷・未来
講師：配水用ポリエチレンパイプシステム協会
（POLITEC）アドバイザー　白澤 洋 様



写真-１　講演中の白澤様

「過去」ではポリエチレン（PE）管の歴史や国内外の採用実績の流れ、「変遷」では POLITEC で事務局長を務めた 15 年間の主要な協会活動、「未来」では PR 管の耐震性能・新素材の検証や人手不足等の支援、上下水一体行政への対応について説明されました。また、PE 管採用拡大や規格化の鍵となる国交省の耐震化に関する検討会の動向への期待も述べられました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演２：オゾンが創るサステナブルソリューション
～オゾン発生技術の発展と展望～
講師：三菱電機㈱神戸製作所 Chief Expert
和田 昇 様



写真-２　講演中の和田様

オゾンの利用範囲や上下水道システムへの適用事例を整理し、オゾン発生技術の基本原理や実用化・産業応用に関する事例を紹介されました。オゾン発生の高効率・高濃度化の限界にも言及するとともに、課題の解決に資する放電制御や分離貯蔵といった新たな技術の可能性を示し、コロナ禍で再度脚光を浴びたオゾン技術の今後の適用拡大に期待されました。



写真-3　講演の様子の様子

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

水を語る会幹事による「若手が水道に思う話題提供」
講師：メタウォーター　永井卓真　幹事



永井幹事は厚生労働省水道課に官民人事交流で出向した経験を振り返り、東日本大震災復興支援や ICT プラットフォーム構築といった業務を紹介。国ならではの多様な業務を経験でき、人の輪を広げられたとし、「立場を超えて互いに認め合い、尊重し合う気持ちが本当の連携につながっていく」と話しました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

定例幹事会の報告

日時：令和８年５月 16 日(土)　12 時～12 時 50 分
場所：日本水道会館
議題：次回以降の講演者テーマと演者について

編集後記

例年の猛暑、台風に加えて全国で震度５を超える地震が頻発しています。夏場は起こり得るすべての災害が猛暑とのマルチハザードになるものとして備えていきたいと思います。（幹事　西田有輝）

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。
→ http://mizuwokatarukai.org /